

科目名	研究・論文作法	備考
単位数	2単位	

鎗田英三・小澤伸光

《研究方法・論文作成の基礎を学ぶ》

1. 講義目標・講義内容等

講義目標：修士論文作成の基礎となる研究方法の特徴とその活用法、そして、論文作成の基礎的な規約を身につけ、円滑かつ効率的に修士論文が作成できる基盤を築くことが、本講義の目標です。

講義内容：経済系の部分は鎗田が、経営系の部分は小澤が担当します。経済系、経営系のどちらを専攻する場合でも、両者の研究方法を学ぶことは重要です。

経済系の研究方法は鎗田が担当します。まず、「論文の書き方」をビデオをみながら考えていきます。そして経済学における研究テーマの設定の仕方、文献探索の方法、本の読み方、分析方法などを過去に提出された修士論文などを参考に勉強していきます。現在税理士で活躍している本大学院の卒業生の体験談とアドバイスを聞く特別講義も計画しています。

経営系の研究方法は小澤が担当します。『リサーチ・マインド 経営学研究法』を主として参考にしながら、事例分析等の定性的方法と、統計解析を主とした定量的方法を用いる場合の前提条件、リサーチ実行過程で留意すべき要点を解説します。その際、事例研究における「倫理ガイドライン」にも触れる予定です。

論文作法では、実習形式で論文として必要とされる様々な規約（約束事）を学びます。

2. 関連科目

「エンド・ユーザー・コンピューティング」は、本科目の基礎の上にとって PC を利用した論文作成の効率化を一つの課題としています。学部レベルの経済学未修者は「経済学基礎」を、経営学未修者は「経営学基礎」を履修することによって、学問領域固有の課題と方法を本講義と関連して学ぶことができます。

3. テキスト・参考書等

テキスト

『大学生と留学生のための論文ワークブック』浜田麻里、くろしお出版

参考書

『「知」の方法論—論文トレーニング』岩崎美紀子、岩波書店

『論文作成デザイナー—テーマの発見から研究の構築へ』細川英雄、東京図書

『リサーチ・マインド 経営学研究法』藤本隆宏 高橋伸夫 新宅純二郎 阿部誠 粕谷誠、有斐閣

4. 成績評価方法

次の成績基準により、成績評価を行います。

平常点（出席、クラス参加、発表、グループ作業の成果等）	40%
期末レポート	40%
その他（クラスへの貢献度）	20%

（特記事項）欠席が4回を超える者には原則として単位を与えない。

5. （その他）

学部で卒業論文を作成したことがない大学院生は、本講義を履修することが望ましい。

授業計画			
第1回	研究方法論概説	第8回	研究方法7（経営系）
第2回	研究方法1（「論文の書き方」）	第9回	論文作法1（論文スタイル概説）
第3回	研究方法2（経済系：研究テーマの設定・分析方法）	第10回	論文作法2
第4回	研究方法3（経営系：倫理ガイドライン）	第11回	論文作法3
第5回	研究方法4（経済系：文献探索・本の読み方）	第12回	論文作法4
第6回	研究方法5（経営系）	第13回	論文作法5
第7回	研究方法6（経済系：卒業生の体験談とアドバイス）	第14回	研究・論文作法とテーマ選択